

今期のまとめの方向性について (案)

今期の日本語教育小委員会については、「日本語教育の推進に向けた基本的な考え方と論点の整理について(報告)」(以下、「論点整理(報告)という。)」に基づき、問題点の把握、必要なデータの収集、意見の収集を行っているところであり、検討課題の優先順位と基本的な方向性の検討を行うとしているところである。

今期の取りまとめについては、各論点について、①外国人の状況及びニーズ、②指導者等の状況、対応等、③検討事項についてまとめた上で、次期以降の日本語教育小委員会において検討する事項を整理する。

今期の議論のまとめの構成案

1 はじめに

※今期、検討を行ってきたことについて記載。

2 日本語教育の推進に当たっての基本的な考え方について

※「論点整理(報告)」に基づき、コンパクトにまとめた上で、基本的な考え方を記載。

3 日本語教育の推進に当たっての主な論点について

※「論点整理(報告)」に基づき、各論点についてポイントを記載し、それらについて①外国人の状況及びニーズ、②指導者等の状況、対応等、③検討事項について記載。以下はその記載の例。

(1) 日本語教育の推進体制について

論点 1 日本語教育に関する政策のビジョンについて

<論点 1 の概要>

- …
- …

<ヒアリング、意見収集の整理>

外国人の状況及びニーズについて

• …

指導者等の状況、対応等について

• …

検討事項について

• …

4 おわりに

「論点整理(報告)」で整理した事項について、簡潔にまとめた上で次期以降の日本語教育小委員会の検討課題として①検討の方向性について(事業の改善、モデルや指針等の提示など。詳細については参考資料 2 を参照)、②各論点についての検討について(検討事項と検討の必要性・緊急性等)を整理して記載。

参考資料・データ